

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アットホームな雰囲気施設である 一戸建ての家屋を施設として利用しているため、「施設」という雰囲気はなく児童もリラックスして過ごすことができている。また職員同士も連携をとれており、明るく暖かい雰囲気の中で療育を受けていただくことができています。	施設の内装が白を基調としているため、殺風景になってしまわないよう壁面装飾などでカラフルに飾り付けています。また、児童の状態や課題に関して職員間で情報を共有し、担当外の職員でも気軽に声を掛け合ったり会話を楽しむ等、楽しい空間を作ることが出来るよう工夫しています。	毎月児童の製作物を数種類飾ったり、季節に合わせた壁面装飾を月ごとに貼り替えて、いつでも楽しんでもらえるようにしています。児童の製作については、季節に合うもので指先の訓練にもなるものを毎月準備しています。持ち帰った際には保護者からもご好評いただいています。
2	個別で1人1人に合わせた療育を行っている アセスメントをしっかりと行いニーズや課題を理解した上で、それぞれにあわせた支援計画を作成し、それに基づいた支援を行っています。児童1人に対して職員1人以上を配置することによって、きめ細かな対応をすることができています。	保護者や学校と連携して児童それぞれの特性や困りごとを理解し、活動内容や様々な場面での得手不得手などを都度職員間で情報共有しています。それぞれの特性に合わせて教具を手作りすることもあります。	児童を担当制にすることで保護者や児童に安心感をもってもらうと同時に、細かな変化にもいち早く気づくことができ、保護者や学校と情報共有して対応方法などのご提案をさせていただくことができると考えています。
3	送迎や対応時間等臨機応変に対応している 送迎場所や送迎時間において、ご家庭の都合や児童の体調等に合わせた柔軟に対応しています。気軽にご相談いただけるよう、電話、メール、連絡ノートなど、様々な連絡ツールをご用意しています。	一時的な祖父母宅への送迎や自宅、学校・学童への送迎など、それぞれのご家庭の都合に配慮した送迎を行っています。事前に保護者や園と打合せ・確認を行い、児童を安全に送迎できるよう心がけています。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	2階へ上がる階段や、リビングにも3段ほどの段差がある。	一戸建ての住宅を施設として利用し、活動スペースのほとんどが2階にあるため、どうしても階段を昇っていただく必要があります。また、リビングにあたる大部屋には3段の段差があります。	手すりやベビーゲートを設置し、安易に階段スペースへ出入りできないようにしているなど、階段や段差を安全に昇降できるように努めています。児童が階段の昇り降りをする際には必ず職員が下側に付き添うようにしており、必要に応じて手すりを使うよう促したり手を添えたりして対応しています。リビングの段差では床と段の境目をわかりやすくするようカラーテープを貼って注意を促しています。こちらには手すりが無いので、職員が声を掛けたり手を添える等して安全に気を付けています。
2	個室が少ない。	一戸建ての住宅を施設として利用しているため、完全な個室が2部屋しかありません。	リビングの一部をカーテンで仕切り、できるだけ児童が集中して課題や活動に取り組むことが出来るような半個室を作っています。音が気になる児童や集中力が持続しにくい児童が優先的に個室を利用できるように配慮しています。
3	経験豊富な職員が少ない。	開所して間もないこともあり、療育の経験のある職員が少ないのが現状です。	児発管や児童発達支援・放デイでの療育経験のある職員、また他事業所の方から助言をいただいたり、さまざまな研修を受ける等日々知識を深める努力をしています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童デイさくらんぼ		公表日		2025年2月20日		利用児童数		20		回収数		11	
		チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応					
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		83%	0%	0%	17%	・個室や仕切りのある部屋があり、勉強しやすそう。 ・十分に広い部屋があるだけでなく、個室尾もある。 ・人数が多くなると十分なスペースの確保はむずかしいのではないか。		活動内容、児童の特性や体調に合わせて活動スペースを分けています。外出や歩行訓練など施設外での活動と組み合わせ、適切な環境を作るよう取り組んでいます。					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		58%	0%	0%	42%	・利用人数次第だと思う。 ・職員の総数・配置基準を知らない。		十分な数の職員を配置しています。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		58%	25%	0%	17%	・複雑な造りではないが、階段やフロアでの段差があるので、バリアフリーではない。		階段や段差では、必要に応じて職員が補助をしたり下側に付き添うようにしています。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		100%	0%	0%	0%	・清潔で心地よく、過ごしやすい。		毎日の清掃に加えて、感染症対策として換気・消毒を徹底しています。床に座するなどして活動することがあれば、寒い時期は床暖房も活用しています。					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		83%	0%	0%	17%	・特性に合ったトレーニングをされている。		児童の特性やご家族・ご本人の要望に合わせた支援を行っています。					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		67%	0%	0%	33%	・支援プログラムが何かわからない。		ホームページをご参照ください。					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		67%	25%	0%	8%	・個別懇談をした上で支援計画を作ってくれている。 ・詳しく丁寧に支援計画が作成されていて嬉しい。		半年に一度モニタリングを行い、ご家族やご本人の要望を理解した上で支援計画書を作成しています。					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		58%	17%	0%	25%	・内容がぼくぜんとしていて、当たり障りのない文言で、具体的なことが分かりづらい。 ・子どもに必要な支援をいろいろ考えてサポートしてくれている。		必要に応じて支援計画の内容についてご説明させていただきますので、お気軽にご質問ください。					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		100%	0%	0%	0%	・1か月の活動プログラムがあると助かる。		児童の体調や状態、天候等により柔軟に対応しているため、固定の活動プログラムを決めていません。					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		75%	8%	8%	8%	・長期休みは毎回違う場所に遠出してくれたので、とても楽しんでた。 ・毎回いろいろな製作や活動をしてくれるので、帰宅後笑顔で教えてくれる。		長期休み中のお出かけ先や季節の製作など、活動内容が固定化してしまわないよう工夫しています。					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		25%	17%	17%	42%	・利用を知られたくない人に配慮しているため行われていないと思っている。 ・ハロウィンの時に他の事業所との交流の機会があり、よかった。		他の放デイ施設からご招待がありイベントに参加させていただいたことはありますが、個人情報保護の観点から地域の子どもたち等と交流する予定は現時点ではありません。					
保	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		100%	0%	0%	0%	・見学、契約の時に分かりやすく説明してもらえた。							
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		75%	8%	8%	8%								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		17%	8%	50%	25%	・ペアトレしてほしい。 ・利用を知られたくない人に配慮しているため行われていないと思っている。		個人情報保護の観点から、家族等が参加できる研修会等の開催は予定しておりませんが、外部の研修等の情報がありましたら提供させていただきます。					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。		75%	17%	0%	8%	・連絡ノートの利用や送迎時に職員と直接話す機会がある。		送迎時や連絡帳や連絡ノートを利用して、児童の様子や課題について情報の共有をしています。					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		33%	42%	17%	8%			半年に一度個別懇談を行っています。					

護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	83%	8%	8%	0%	・温かみのある職員が多い。 ・子どもと真剣に向き合ってくれている。	送迎時や連絡ノートを使い、日ごろから児童の様子や困りごとなどを保護者や学校と情報共有しています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0%	8%	75%	0%	・参観や保護者同士の交流会をしてほしい。情報交換をしたい。 ・利用を知られたくない人に配慮しているため行われていないと思っている。	個人情報保護の観点から、保護者会等の開催は予定しておりません。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33%	17%	8%	33%	・苦手なことに取り組んでくれているのか分からない時がある。 ・何度か相談したが、いつも迅速に丁寧に対応してくれている。	相談や申し入れがあれば、すぐに職員間で情報の共有を行い、可能な範囲で対応しています。不可能である場合でもきちんとその旨を説明し、ご理解をいただいています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	67%	25%	0%	0%	・連絡ノートや電話などで気軽に連絡しやすい雰囲気。	連絡帳や連絡ノートなどを活用しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	67%	17%	0%	8%	・毎月のおたよりが分かりやすい。	月に1度、紙のおたよりとホームページでの活動内容報告や連絡を行っています。緊急のお知らせのためにSNSも活用しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	58%	0%	0%	33%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33%	8%	8%	42%		契約時にマニュアルの説明は行っています。訓練の様子については今後お便りやホームページにてお知らせしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8%	8%	17%	58%	・訓練が実施されているのか分からない。	訓練を行った際にはおたよりやホームページでお知らせしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33%	17%	8%	33%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	42%	17%	8%	25%	・報告はあるが、対応に疑問に思うことがあった。	事故や怪我がないようしっかりと注意するとともに、万一起こってしまった場合にはご納得いただけるようしっかりと説明できるようにしていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	83%	0%	0%	8%	・不安がることなく、毎回回をするのが楽しみにしている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	83%	0%	0%	8%	・毎回楽しみにしており、笑顔で帰ってくる。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	83%	8%	0%	0%		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイさくらんぼ				公表日	2025年2月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個室を利用したり、大部屋を仕切って利用するなど、人数が多くなっても個別の活動しやすい環境を作っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		十分な数の職員を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	△		階段には手すりがあり、児童が昇降する際には必ず職員が下側に付き添い、必要に応じて手を添えるようにしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃に加えて、感染症対策として換気・消毒を徹底しています。床に座るなどして活動することがあれば、寒い時期は床暖房も活用しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		児童の特性や活動に応じて、個室・大部屋を使い分けています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に職員会議を行い、支援内容や児童の様子を振り返りながら今後の方針を決定しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表でいただいたご意見・ご意向をもとに職員会議を行い、改善すべき点の共有と改善に向けた取り組みを行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議や個別の面談において職員の意見を把握し、業務改善に活かしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			第三者による評価を検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修に参加し、その内容を事業所内で共有して知識を深めています。		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ上に公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		半年に一度個別懇談を行い、支援計画書を更新しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		アセスメントをもとに職員会議を行い、1人1人に合った支援を提供できるよう取り組んでいます。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員会議で共有するとともに、支援計画に沿った課題や活動プログラムを立てています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化された評価を使用して、児童の特性把握に努めています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って支援計画書を作成しています。		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		支援計画をもとに複数人で活動プログラムの立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		様々な活動を取り入れ、固定化しないよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		児童の特性や状況を考慮し、必要に応じて個別活動を集団活動を組み合わせ支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員間で支援内容を共有し、内容や役割分担について話し合っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日支援についての記録を残し、職員同士の話し合いをもとに活動の見直し・改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度個別懇談によるモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		児童の特性に合わせ、4つの基本活動をそれぞれに適した形で支援に組み込んでいます。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動をする順序や活動内容、外出先など、いくつかの選択肢を提示して児童に決定してもらう状況を作っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		保育園に見学に行かせていただき、その際に児童の支援内容について情報の共有を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医療機関や相談支援事業所、保育園などと連携して支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時に担当の先生から報告を受けています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	△		必要に応じて情報共有等の相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		まだ1年目のため学校を卒業する児童に立ち会っていません。	必要に応じて関係機関児情報提供を行っていききたいと思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	△			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	△		他の事業所からイベントの招待を受けて参加したことはありますが、地域の子どもたちとの交流する機会はありません。	今後検討していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		まだそういった機会を設けたことはありません。	今後検討していきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や連絡ノートを利用して、児童の様子や課題について情報の共有をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△		個別懇談の際にご家庭での声掛けの仕方などの助言をさせていただいていますが、ご家族向けの研修会等は行っていません。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際にすべてご確認いただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年に一度個別懇談を行い、児童やご家族の意向を確認しています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		作成した支援計画書をご家庭で確認していただき、不明な点があればお答えする形で説明を行っています。ご署名をいただくことで同意をいただいたと判断しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		半年に一度の個別懇談や、連絡ノートや電話、メール等でご相談を承っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	まだそういった機会を設けたことはありません。	今後検討していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れについて、可能な範囲で迅速に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に1度、紙のおたよりとホームページでの活動内容報告や連絡を行っています。緊急のお知らせのためにSNSも活用しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が含まれる書類に関しては、鍵付きの書庫にて厳重に管理しています。また、お便りやホームページ等で写真を使用する際には個人が確定されるようなものを避けています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	まだそういった機会を設けたことはありません。	今後検討していきたいと思います。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員が誰でも確認できる場所にマニュアルを保管しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、職員間で理解の共有をしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に保護者から服薬やてんかん発作等の状況を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	△		契約時に保護者に確認していますが、現在は食欲アレルギーを持つ児童はいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約の際に避難経路や災害等の際の対処方法について説明しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		報告書を作成して職員間で情報共有し再発防止に役立てるとともに、ファイルに保管していつでも確認できるようにしています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止マニュアルの周知とともに、過去の事例などを元に情報の共有をしています。	今後職員に向けた研修の機会を設けたいと思っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		職員に対して身体拘束マニュアルの周知を行い、身体拘束を行う場合の事例について契約時に保護者に説明をしています。	今後職員に向けた研修の機会を設けたいと思っています。	